



産業活性化対策特別委員会 視察の様子「磨き屋一番館について」(11/12新潟県燕市)



公共交通・まちづくり対策特別委員会 視察の様子「プラネタリウムと展示室の企画、運営について」(11/14東京都西東京市)



議会改革特別委員会 視察の様子「予算決算委員会について」(11/14愛知県豊田市)



総務委員会 視察の様子「消防救助機動部隊について<東京消防庁>」(1/23東京都)

INDEX		主な内容
1	12月定例会	
2	主な議案	
3	委員会審査	
3~5	一般質問	
6	予算特別委員会	
7	議会日誌 議案等の審議結果	
8	議会報告会の開催について 海外・県外視察報告	

12月定例会は、平成25年12月3日から25日までの23日間の会期で開かれました。

今定例会では、9月定例会において継続審査となっていた平成24年度各会計歳入歳出決算の認定等にかかる議案4件のほか、「平成25年度福井市一般会計補正予算」、「福井市国民宿舎鷹巣荘の設置及び管理に関する条例の一部改正について」、「福井市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例等の一部改正について」など市長提出の議案10件、報告1件を審議した結果、議案は7件を原案どおり可決、3件に同意、2件を認定、2件を可決及び認定し、報告は1件を受理しました。

請願については、今回提出された5件を審議した結果、いずれも不採択とすることに決定しました。

また、議員提出議案として、「福井市議会会議規則の一部改正について」を審議した結果、原案どおり可決しました。

そのほか、市政に対する一般質問を21人の議員が行い、25日、予定した日程を全部終え閉会しました。

12月 定例会

**平成24年度福井市各会計歳入歳出決算を認定
平成25年度福井市一般会計補正予算を可決**

平成24年度 一般会計・特別会計決算総括表 (単位:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	104,635,722,972	103,030,411,270	
特別会計	国民健康保険	24,956,111,037	27,900,154,513
	国民健康保険診療所	6,835,417	5,067,840
	後期高齢者医療	2,857,888,252	2,852,247,302
	介護保険	20,935,762,896	20,642,164,273
	交通災害共済	15,113,372	15,053,744
	競輪	9,845,319,439	9,768,633,868
	簡易水道	335,925,293	335,810,691
	宅地造成	3,816,568,395	2,890,385,602
	中央卸売市場	789,233,504	788,984,175
	駐車場	469,913,673	469,725,705
	集落排水	1,114,978,712	1,114,231,485
	地域生活排水	237,037,676	228,313,011
	福井駅周辺整備	2,441,847,473	2,441,219,854
	合計	172,458,258,111	172,482,403,333

平成24年度 企業会計決算総括表 (単位:円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	6,928,360,157	6,477,795,982	450,564,175
	資本的収支	5,905,625,700	8,418,789,133	△ 2,513,163,433
ガス事業	収益的収支	3,818,593,425	3,587,170,754	231,422,671
	資本的収支	439,248,375	1,322,471,313	△ 883,222,938
水道事業	収益的収支	4,808,637,173	4,371,589,530	437,047,643
	資本的収支	1,833,800,460	3,632,579,968	△ 1,798,779,508

- 収益的収支: (料金収入等) - (サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支: (企業債等) - (建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補っています。
- 消費税を含む金額です。

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成24年度各会計(一般・特別・企業)決算の認定等について審査するため、10月1

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、7頁に掲載しています。

日及び2日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。(各会計決算は左記の表参照)

平成25年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で5,950万円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2,097億2,507万4,000円となります。

○一般会計補正予算

豪雨や台風により被災した農地及び農業用施設の復旧を行う農業施設災害復旧事業のほか、足羽川ダム建設に伴う集団移転

先造成工事の調査・設計を行う足羽川ダム建設促進事業、新たな児童クラブの設置に伴う施設整備などを行う児童クラブ設置事業、人農地プランにおいて地域の中心となる経営体への農地集積を促進するため、農地集積に対する協力を交付する担い手・農地総合対策事業などについて、5,950万円を増額するものです。

条例

○福井市国民宿舍鷹巣荘の設置及び管理に関する条例の一部改正について
福井市国民宿舍鷹巣荘の耐震補強や改修によるリニューアルに伴い、利用料金の見直しを行うものです。

市会案(議員提出議案)

規則
○福井市議会会議規則の一部改正について
地方自治法第100条第12項に規定する議会の運営において協議や調整を行う場として、福井市議会だより編集委員会を設置するため、規則の一部を改正するものです。

人事案件

教育委員会委員

平成25年12月23日をもって任期満了となる玉木誠氏を引き続き任命することに同意しました。

公平委員会委員

平成25年12月23日をもって任期満了となる清川忠氏を引き続き選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

平成25年12月21日をもって任期満了となる勝田輝氏を引き続き選任することに同意しました。

人権擁護委員

平成26年3月31日をもって任期満了となる佐藤辰弥氏、植山佳子氏、茂呂信吾氏を引き続き推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。



委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長の報告から、主要な質疑等の要旨を紹介します。(日程順に掲載)

決算特別委員会

《消費増税による市への影響》

問 消費税が8%に増税される一方で、自動車取得税等の減税などが検討されているが、本市の収入の増減をどのように見込んでいるのか。

答 現時点で収入は約20億円増えると想定しているが、新年度予算の編成に当たり、減税が検討されている税目も含め、より細かい算定をしていきたい。

《未利用の市有地》

問 実勢価格と比較して売却価格が高い未利用の市有地を、今後どのように処分していくと考えているのか。

答 市としても未利用の市有地は売却していきたいと考えていることから、今後も実勢価格に近い売却を積極的に進めていきたい。

産業活性化対策特別委員会

《新事業展開・創業への支援》

問 IT関連や、繊維産業に関わりの深いデザイン関連など、ソフト事業に対する支援が講じられていないのではないかと。

答 IT関連やデザイン関連に対する支援など、新たな産業に対する補助制度のあり方を検討している。

公共交通・まちづくり対策特別委員会

《自然史博物館分館》

問 教育施設としての機能と観光やにぎわい創出のための機能を両立させることについて、市の考えは。

答 来年度から天文の学芸員を採用して、本館においての調査研究業務を行うとともに、分館において観光やにぎわい創出の役割を担う指定管理者を監修、指導することで、一体的に自然科学教育を推進していきたい。

総務委員会

《市債残高》

問 多額の市債を抱えていることから、市債残高を減らすべきではないか。

答 優先すべき事業を選び、少ない財源の中で効率的で効果的な予算編成をするように努めている。

また、起債する際には、交付税措置がある市債や事業費充当率が高い有利な市債を活用するように努めていきたい。

建設委員会

《下水道事業受益者負担金》

問 受益者負担金及び分担金の滞納額と延滞金の納付額は、また、年間の滞納件数は。

答 受益者負担金及び分担金の平成24年度末の未収金額は2,989万1,396円で延滞金の収入額は60万1,000円である。

また、年間の滞納件数は約400件である。

教育民生委員会

《児童クラブ設置事業》

問 小学校内で実施している児童クラブは部屋が狭い

ため、各学校により多くの空き教室の提供を依頼し、整備を進める方針を示すべきではないか。

答 今年度末には、省令として児童クラブの設備や運営などについての基準が整備されると聞いており、平成27年4月に向けて、基準に適合できるように整備を進めていく。

また、基準を満たした上で、今まで以上に小学校内の施設を活用できる部分があれば、学校と協議していきたい。

経済企業委員会

《国民宿舎鷹巣荘》

問 建物を減築して耐震化を図る例は、全国的にどのくらいあるのか。また、技術的に確立されているのか。

答 全国の事例は把握していないが、県内では芦原小学校がこの工法で耐震化されている。おおむねどの建築業者でも建築可能な工法であり、技術的にも確立されている。



国民宿舎 鷹巣荘リニューアル後 (イメージ図)

一般質問要旨

中央公園の再整備

問 御座所の復元について、市の見解は。

答 御座所については、平成24、25年度の発掘調査では礎石が確認できなかったことに加え、江戸時代の絵図により間取りは残されているものの、全体の外観や部屋の内部の様子を示す記録が無いため、復元は極めて難しいと考えている。

問 福井城址と中央公園のあり方を考える上で、歴史を感じさせる視点が抜けているのではないかと。

答 福井城址と一体的に歴史を感じることができるよう中央公園を再整備していく。具体的な整備内容は、堀跡を石垣などで明示して、歴史のプロムナードと位置づけること、市役所の地下につながる半地下の開放的な空間であるサンクンガーデンにおいて石垣が見える形にすること、県庁の石垣や堀が中央公園から見えるように土塁を撤去することである。

問 中央公園に関係の深い方や地元地域に住む方の声をどのように反映していくのか。

答 地元公民館の郷土学習講座から、「市民が集い考える福井城址公園構想」の提案を受けている。

また、地元小学校の子ども達によるワークショップや、地元説明会を開催した際にもさまざまな意見をいただいているため、これらも参考に整備していきたい。

ゆるキャラの魅力

問 朝倉ゆめまるの魅力アップの方法は。

答 新たに制作した朝倉ゆめまるの着ぐるみは、従来のものより格段に動きやすくなっているため、より一層キャラクターの動きや仕草を研究し、決めポーズを設定するなど表現力を磨いて魅力アップに努めていきたい。



朝倉ゆめまる

足羽山・足羽川周辺

問 足羽山や足羽川を今後どのように活用していくのか。

答 足羽山や足羽川のまちなかに位置するという全国でも珍しい特性を生かすため、「足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想」を策定し、足羽山や足羽川をまちなかの貴重な地域資源と位置づける。福井を訪れる人にとつて魅力的な空間となるようにハード、ソフトの両面から、基本的な活用方向性と各種施策をまとめていきたい。

問 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想策定の中で、足羽地区の歴史資源間のルート案内についてはどのように進めるのか。

答 ルート案内については、ワークショップの中で、左内公園までのアクセスがわかりにくいとの意見があったことから、観光客が、幕末偉人の功績を知り、歴史資源を周遊できる案内機能を検討している。また、歴史資源への愛着の醸成に関し、歴史散策会が重要との意見もあったため、地域が輩出した歴史上の人物について、そのゆかりの土地を歩きながら学べる場の提供を検討している。

市庁舎別館の耐震化

問 別館の耐震化について、どのように考えているのか。

答 別館は耐震工事が必要である上に、建築後51年を経過しているため、建て替えを検討する時期にきているが、将来的に本館と別館を一体的に整備し建て替えるほうが、経費の面や庁舎機能の観点から有効であると考へ、耐震化と合わせて大規模改修を実施し、長寿命化する方向で検討を進めている。

保育所入所の相談記録

問 年度途中の保育所入所相談の記録票を作成することを検討した結果は。

答 現在、記録票の導入に関する意見を市内の民間保育園や認定こども園に照会しており、近々導入を開始したい。

路線バス運賃の値下げ

問 路線バスの運賃の大幅な値下げによる利用者の増加は狙わないのか。

答 バス路線再編社会実験では、福井茶崎線において運賃を最大1,300円から700円にするなど、遠距離区間

を中心に思い切った値下げを行ったが、今のところ、運賃値下げ分を補えるだけの利用者の増加は確認できないため、これ以上の運賃値下げは考えていない。

原子力災害への対応

問 原発からの距離が半径約30キロメートル圏内である災害対策重点実施範囲(UPZ)の範囲外における原子力災害への取り組みは。

答 UPZ外においても、定期的な空間放射線量を測定するため、サーベイメーターを配備している。安定ヨウ素剤についても、県が健康福祉センターなどに備蓄しているものを必要に応じて使用し対応することを考えている。

文化行政の推進

問 本市の地域の文化をどのように周知していくのか。

答 フェイスブックなどのさまざまな情報発信ツールを活用してPRし、観光資源として磨き上げていく。また、無形民俗文化財のPR映像を制作しており、福井駅西口の屋根付き広場に設置される大型ビジョンで活用していきたい。

施設園芸経営拡大

問 降雪などの気象条件に左右されない植物工場を建築する場合の課題は。

答 植物工場はパイプハウスに比べ、特に電気料金などのランニングコストが大きいことや年間の出荷先を確保することが大きな課題と考へる。

学校支援員の配置

問 いきいきサポーターの拡充、学校図書館支援員の

答 いきいきサポーターについては、現在60の小・中学校に70人配置している。量的な拡充だけでなく、研修を実施するなど、質の向上を図ることで対応したい。学校図書館支援員については、現在、児童生徒数100人以上の51小・中学校に20人配置している。今後、全69小・中学校への配置を目指す。ITサポーターについては、一定の成果も見られ、事業としても一区切りついたため、廃止を考へている。

財政支援措置

問 合併市町村に対する財政上の特例措置は、継続を強く求めていくべきではないか。

答 特例措置の一つである合併特例債については、多くの合併市町村からの要望を受けて、昨年6月に合併特例債延長法が成立し、発行期限が5年間延長された。今後も、地域の振興と一体化に向けて必要な事業に対し、計画的で有効な活用を行っていく。

平成25年度予算執行状況

問 公共事業関連予算の執行状況は。

答 一般会計における公共事業関連予算の執行状況は、予算総額約145億円に対し、11月末時点で約110億円、執行率は約76%となっている。

また、このうち緊急経済対策分の約41億円は、11月末時点で約92%の執行率となっており、順調に事業が進捗している。

平成26年度予算

問 平成26年度予算における市税収入の見込みは。

答 個人市民税や固定資産税などは、前年の所得や地価などを基準にして課税しており、景気回復がすぐには税収に反映されないため、新年度予算における大幅な税収増は期待できないと考えている。

消費税増税

問 消費税率の引き上げは、公共料金や手数料など市民生活にどのような影響を及ぼすか。

答 非課税の市営住宅、休日急患センターなどの使用料や、戸籍、印鑑証明などの手数料は現行どおりとなる。

一方、各種スポーツ施設や温泉施設などの使用料や廃棄物処理手数料等は、消費税率引き上げの影響を受けることになるが、施設の運営状況や他自治体の対応なども踏まえて慎重に検討していく。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、21人の議員が一般質問を行いました。
(※ 議員名の前に付いている番号は質問順、質問内容の掲載は大項目のみ) (敬称略)

<p>① 石丸 浜夫</p> <p>1 ラジオ放送の不感地帯解消対策について</p>	<p>② 今村 辰和</p> <p>1 災害対策基本法の改正について 2 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想について 3 合併市町村に対する財政支援措置とその活用状況について 4 米政策の転換について 5 中心市街地の駐車場問題について</p>	<p>③ 堀川 秀樹</p> <p>1 ゆるキャラ活用による福井市の戦略について 2 福井市の前期高齢者、後期高齢者の実態とその課題について 3 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 4 中央公園周辺再整備事業基本計画・基本設計について</p>
<p>④ 下畑 健二</p> <p>1 防災・減災の課題について 2 学校のいじめ問題について 3 全国学力・学習状況調査の学校別成績公表について 4 地域包括ケアシステムの構築について</p>	<p>⑤ 皆川 信正</p> <p>1 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 2 県都デザイン戦略について 3 おさこえ民家園について 4 福井市のゆるキャラ「朝倉ゆめまる」について</p>	<p>⑥ 島川 由美子</p> <p>1 多様な視点での防災対策について 2 障がい者が安心して暮らせるまちづくりについて 3 コミュニケーション支援ボードの導入について</p>
<p>⑦ 鈴木 正樹</p> <p>1 待機児童対策と保育のこれからについて 2 介護保険のこれからについて 3 除雪対策について 4 殿下地区の水道水の濁りについて</p>	<p>⑧ 西本 恵一</p> <p>1 中央公園周辺再整備事業基本計画・基本設計について 2 ふくい鮮いちば開設事業計画について 3 北陸新幹線金沢開業に向けた福井がとるべき対策について 4 改正道路交通法の新規定による自転車走行違反防止対策について</p>	<p>⑨ 藤田 諭</p> <p>1 福井市の地域交通について</p>
<p>⑩ 片矢 修一</p> <p>1 平成26年度当初予算案の編成について 2 高齢化対策について 3 道路交通法改正に伴う自転車の通行について</p>	<p>⑪ 堀江 廣海</p> <p>1 原子力災害への対応について 2 公共事業の諸問題について</p>	<p>⑫ 田中 義乃</p> <p>1 県都デザイン戦略について 2 福井市の街路樹について 3 世界農業遺産について</p>
<p>⑬ 峯田 信一</p> <p>1 予算執行状況について 2 大気汚染の現状と対策について 3 農業問題について</p>	<p>⑭ 村田 耕一</p> <p>1 文化行政の推進について 2 市民の憩いの場、観光地としての足羽山の整備について 3 地域スポーツの裾野拡大とその支援について 4 多文化共生時代における本市の子ども行政について</p>	<p>⑮ 後藤 裕幸</p> <p>1 既存施設の多目的使用による景気対策について 2 県外からの来訪者への対応について</p>
<p>⑯ 西村 公子</p> <p>1 特定秘密保護法の問題点と市長の見解について 2 消費税増税と市民生活、市財政への影響について 3 市ガス料金値上げ方針について 4 原子力防災の取り組みについて</p>	<p>⑰ 中村 綾菜</p> <p>1 北陸新幹線金沢開業を活かした観光まちづくりについて 2 福井市中央公園周辺再整備基本計画(案)について 3 3Dプリンター・3Dデザインについて 4 オープンガバメントの推進について 5 防災について</p>	<p>⑱ 玉村 正人</p> <p>1 教育予算の確保について 2 放置自転車対策について</p>
<p>⑲ 奥島 光晴</p> <p>1 北陸新幹線金沢開業に向けた観光誘客について 2 足羽山・足羽川周辺の歴史や文化を活かしたまちづくりについて 3 インフルエンザ対策について</p>	<p>⑳ 泉 和弥</p> <p>1 とともに責任を担う協働のまちづくりについて 2 降雪地域における施設園芸経営拡大の可能性について</p>	<p>㉑ 青木 幹雄</p> <p>1 本市の教育について 2 まちづくりについて</p>

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

委員の変更

10名の委員から辞任願が提出されたため、12月3日の本会議において新たに10名の委員の選任を行いました。

【辞任】

西村 公子 青木 幹雄

今村 辰和 下畑 健二

峯田 信一 奥島 光晴

堀江 廣海 藤田 諭

片矢 修一 玉村 正人

【選任】

加藤 貞信 宮崎 弥磨

見谷 喜代三 西本 恵一

島川 由美子 鈴木 正樹

泉 和弥 伊藤 洋一

田中 義乃 中村 綾菜

審査結果

12月3日の本会議において予算特別委員会に付託された予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、12月18日及び19日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された予算

議案については、原案どおり可決しました。
(議案名は7頁参照)

主な質疑

中央公園の再整備

問 石垣や堀を整備して、城址公園の輪郭を明確にしたデザインとすべきではないか。

答 現在の中央公園再整備基本計画は福井城の堀の区割りを生かした整備計画としているが、今後パブリックコメント等も含め、意見を整理した上で専門家会議に諮っていきたい。

資源物の回収

問 市民の利便性を向上させるために、資源物の回収拠点を増やすべきではないか。

答 拠点回収は資源のリサイクルに効果があるため、助成金による支援も含め、回収拠点を増やす方向で検討している。

民生委員児童委員

問 今年度行われた民生委員児童委員の一斉改選において、各委員が担当する世帯数の地域差を解消するためにどのような対策を行ったのか。

答 委員の活動負担の軽減を図るため、改選時に委員定数を7人増やしており、委員1人当たりの担当世帯数が多い7地区に1人ずつ増員した。

観光PR

問 観光PRのために、印象に残るような斬新なキャッチコピーを市民から募集してはどうか。

答 市長が発言した「つるつるいっばいのおもてなし」という言葉が地元民法テレビ局の「2013年福井の言葉」の一つに選ばれており、この言葉をキャッチコピーにして北陸新幹線金沢開業に向けたおもてなし戦略を展開していきたい。

3Dプリンタ

問 県と連携して3Dプリンタによる技術革新を引っ張っていくべきではないか。

答 県では平成4年から3Dプリンタの技術研究に着

手し、企業との共同開発も行うなど、取り組みが進んでいる。

市としては県と役割を分担しながら、中小企業を対象に事業化や社員への研修に対する助成を行っている。

中央卸売市場の一般開放

問 一般開放により一般消費者や観光客にはメリットがある一方、小売業者との競合が懸念されるが、その対策は。

答 一般開放では、一般の小売業者にはない市場の特色を生かした品揃えを目指すとともに、調理方法や食材の選び方などを対面で情報提供しながら販売することで、小売業者に大きな影響がないように差別化を図っていく。

越前水仙の振興

問 市の取り組み内容や成果は。

答 水仙栽培農家への技術指導のほか、年間を通して水仙栽培を体験してもらうことにより、新たな担い手の育成を目指す水仙栽培体験事業に取り組みしており、平成25年には新たに2人が水仙栽培に就農した。

除雪への協力

問 除雪に対する市民の協働意識、協力度をどのよう向上させるのか。また、除雪に協力してもらうために、自治会等へ説明を行う考えは。

答 来年度の早い時期に公民館単位で除雪に関するアンケート調査を予定しており、市民の要望や意見をしっかりと聞くことで意識向上を図りたい。また、アンケート調査の結果を踏まえ、市政出前講座による説明や、自治会連合会長や学校長が集まる機会での説明などを行うことで、除雪に協力してもらえるよう努めたい。

ガス料金の改定

問 市民の負担が増える消費税増税と同時期の4月に料金改定をするのはなぜか。

答 このままだと収益的収支は黒字が維持できるが、平成29年度には耐震対策などの建設改良事業を行う資本的収支の財源が不足する。料金改定を遅らせるほど改定率が高くなるため、少しでも改定率を低く抑えられる今の時期が最良と判断した。

12月定例会		議会日誌（平成25年10～12月）	
25日	本会議	10月1日	決算特別委員会（～2日） 姉妹都市提携30周年記念事業 （～13日アメリカ・ニューブランズウィック市）
20日	議会運営委員会	8日	全国競輪主催地議会議長会役員会（東京都）
19日	予算特別委員会	21日	福井県市議会議長会中央要望活動（東京都）
18日	予算特別委員会	22日	福井県自治会館組合議会
13日	教育民生委員会、経済企業委員会	28日	福井県市町総合事務組合議会
12日	総務委員会、建設委員会	29日	議会運営委員会
11日	本会議	30日	北信越市議会議長会理事会、評議員会（富山市）
10日	本会議	31日	議会改革特別委員会
9日	本会議	11月6日	福井県市町議会議員合同研修会
4日	議会運営委員会	7日	全国競輪主催地議会議長会役員会、第113回臨時総会（高松市）
12月3日	議員全員協議会、議会運営委員会、本会議	11月6日	全国市議会議長会第193回理事会、第95回評議員会（東京都）
		27日	第25回都道府県庁所在都市議長会定期総会（東京都）
		26日	福井県市議会議長会議員研修会（大野市）
		25日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
		21日	公共交通・まちづくり対策特別委員会
		20日	都市行政問題研究会役員会（東京都）
		19日	産業活性化対策特別委員会
		14日	全国競輪主催地議会議長会中央要望活動（東京都）
		13日	福井県市議会議長会議員研修会（大野市）
		7日	福井県市議会議長会議員研修会（大野市）
		31日	福井県市町議会議員合同研修会
		30日	議会改革特別委員会
		29日	北信越市議会議長会理事会、評議員会（富山市）
		28日	議会運営委員会
		22日	福井県市町総合事務組合議会
		21日	福井県市議会議長会中央要望活動（東京都）
		8日	全国競輪主催地議会議長会役員会（東京都）
		10月1日	決算特別委員会（～2日） 姉妹都市提携30周年記念事業 （～13日アメリカ・ニューブランズウィック市）
			議長 出席
			副議長 出席

議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議	結果
第76号議案	平成24年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	12月3日	認定
第77号議案	平成24年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定
第78号議案	平成24年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	認定
第79号議案	平成24年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定
第80号議案	平成25年度福井市一般会計補正予算	12月25日	原案可決
第81号議案	福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
第82号議案	福井市国民宿舎鷹巣荘の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃
第83号議案	福井市道路占用料条例の一部改正について	〃	〃
第84号議案	福井市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例等の一部改正について	〃	〃
第85号議案	工事請負契約の締結について（国民宿舎鷹巣荘耐震補強及び改修工事）	〃	〃
第86号議案	字の区域の変更について	〃	〃
第87号議案	教育委員会委員の任命について	12月3日	同意
第88号議案	公平委員会委員の選任について	〃	〃
第89号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃
第35号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	〃	受理
市会案第23号	福井市議会会議規則の一部改正について	〃	原案可決

請願・陳情等の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議	結果
請願第15号	要支援者を介護予防給付から外すことに反対する意見書提出について	12月25日	不採択
請願第16号	フリーゲージトレイン（FGT）を導入せず特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書提出について	〃	〃
請願第17号	TPP交渉からの撤退を要求する意見書提出について	〃	〃
請願第18号	子ども・子育て支援新制度をすべての幼い子どもの育ちを支える制度とするための意見書提出について	〃	〃
請願第19号	特定秘密保護法制定に反対する意見書提出について	〃	〃

議会報告会を開催します

～あなたの声をお聞かせください～

議会基本条例に基づき、昨年から始めた議会報告会を、今年も開催します。
平成26年度当初予算や、市民生活にとって重要な議案の議決結果、審議の経過について報告します。
市政全般について、皆さんのご意見をぜひお聞かせください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

と き	と ころ
4月 8日(火) 19:00～	旭公民館 上文殊公民館
4月 9日(水) 19:00～	木田公民館 麻生津公民館
4月10日(木) 19:30～	岡保公民館
4月16日(水) 19:00～	大安寺公民館
4月17日(木) 19:00～	西藤島公民館
4月17日(木) 19:30～	越廼公民館

※申込は必要ありません。



海外視察報告

平成25年10月に海外の先進地を視察しました。視察先は次のとおりです。

視察団名	日 程	視 察 先	視 察 議 員
全国市議会議長会 欧州都市行政調査団	平成25年 10月2日(水)～10日(木)	・(財)自治体国際化協会パリ事務所 (フランス パリ) ・コペンハーゲン・エネルギー&水科学センター (デンマーク コペンハーゲン) ・バーンシュタット地区開発局 (ドイツ ハイデルベルク) 他2都市	加藤 貞信 堀川 秀樹

委員会 県外視察報告

平成25年11月、平成26年1月に県外の先進地を視察しました。各委員会の視察先は次のとおりです。

委員会名	日 程	視 察 先
産業活性化対策特別委員会	平成25年 11月11日(月)～12日(火)	・新潟ニューフードバレープロジェクトについて (新潟県新潟市)
		・農業活性化研究センターについて (新潟県燕市)
議会改革特別委員会	平成25年 11月14日(木)～15日(金)	・産業観光の推進について (三重県)
		・磨き屋一番館について (愛知県豊田市)
公共交通・まちづくり対策特別委員会	平成25年 11月14日(木)～15日(金)	・予算決算常任委員会について (東京都西東京市)
		・予算決算委員会について (東京都西東京市)
総務委員会	平成26年 1月23日(木)～24日(金)	・プラネタリウムと展示室の企画、運営について (東京都三鷹市)
		・4D2Uドームシアターについて (国立天文台) (東京都三鷹市)
		・災害救助情報センターについて (東京都) (東京都)
		・消防救助機動部隊について (東京都) (東京都)
		・地域防災力向上の取り組みについて (東京都荒川区)

お問い合わせ
議会事務局 議事調査課
079-201-5510

なお、本会議、予算特別委員会の模様はケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

- 傍聴できる会議
- 本会議 (席数 91席、車イス用 6席)
- 常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)
- 議会運営委員会
- 特別委員会 (産業活性化対策、議会改革、公共交通・まちづくり対策)
- 議員全員協議会 (予算)

次回は3月定例会です
(日程はホームページに掲載中です)
傍聴してみませんか

請願・陳情等の提出について
請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。